



現地手配品		仕様	
配線、エア用CD管 (MFC D-28) 1本		型式	NNZ30AU
電源用コード 4芯 2SQ以上		能力	3000kg
1次側エア配管3/8以上 0.5~1.0MPa (5~10kgf/cm²)		揚程	1800mm
		上昇時間 (50Hz)	約65秒 (3000kg負荷時)
		上昇時間 (60Hz)	約54秒 (3000kg負荷時)
		下降時間	約33秒 (3000kg負荷時)
		モーター	1.5kW 3相 200V
		駆動方法	電動油圧式
		操作方法	押釦SW (操作電圧24V)
		リフト芯間	1400mm
		油量	12L (ISOVG32油圧作動油)
		エア圧	0.5~1.0MPa (5~10kgf/cm²)
		機械自重 (リフト)	1020kg
		車両重量 (含衝撃荷重)	3600kg
		総重量	4620kg

工事内容及び施工区分

工程	工事内容	建築
1	掘削・根伐・掘削・型枠・基礎コンクリート工事	
2	リフト組立及び据付け工事	
3	モルタル及び土砂埋戻し工事・残土処理	
4	CD管配設・手元開閉器及び通電工事	
5	土間コンクリート打設・床仕上げ工事	
6	制御BOX取付・連絡線接続・試運転	

- 注意**
- ラム頂部に水平器を置き、前後左右の傾きを調整して下さい。傾きがある場合には再調整して下さい。
  - 基礎工事のコンクリート工法及び寸法は、地盤の強弱により異なりますのでシリンダー底面に合計5tの圧力が加えられても亀裂、破損、沈下等、起こらないよう施工のこと。
  - 図面の寸法は機械寸法の為、基礎の寸法は十分余裕をみて工事を行って下さい。( )内寸法は参考。
  - ケースが脱着の際、リングを損傷しない様にして下さい。
  - 床面は、既設、新設を問わず受台の接する部分は水平に施工して下さい。
  - 本体、制御ボックス間は、9m以内のこと。
  - リフト上部の天井高さは、乗用車(リフトボックスは除く)をリフトアップするものとして最低4,000mm以上とすること。
  - 連結ケースの上面が床面より低くなると強制下降の為、最下位時に受台が撓んでしまいます。よって床面は必ず連結ケースの上面と同じ高さに合わせて下さい。
  - CD管フレキは本体に付属していません。
  - 排水処理をして下さい。

出図  
23.9.28  
技術部

株式会社スギヤス

品名 NNZ30AU設置図  
図番 NNZ30AU -022000-09

2023/09/11

製 石川恵

日付 2023/09/11

尺 度 FREE

図 号 A2

承認 23.9.27 新渡辺

検図 23.9.27 新渡辺

検査 23.9.27 新渡辺

訂正 年月日 記 事 担当承認